

| 会 議 録（要 録）                  |                                    |                                                |              |
|-----------------------------|------------------------------------|------------------------------------------------|--------------|
| 令和 8 年度第 1 回和光市医療的ケア児等支援協議会 |                                    |                                                |              |
| 開催年月日・召集時刻                  |                                    | 令和 8 年 7 月 2 4 日      午後 2 時 0 0 分             |              |
| 開 催 場 所                     |                                    | 和光市役所 5 階    5 0 2 会議室                         |              |
| 開催時刻                        | 午後 2 時 0 0 分                       | 閉会時刻                                           | 午後 3 時 3 0 分 |
| 出 席 委 員                     |                                    | 事 務 局                                          |              |
| 楠田 智子                       |                                    | 子 ど も 家 庭 支 援 課 課 長    飯田 真子                   |              |
| 勝又 大助                       |                                    | 子 ど も 家 庭 支 援 課 課 長 補 佐    富澤 崇                |              |
| 上牧 勇                        |                                    | 子 ど も 家 庭 支 援 課 子 ど も 施 策 担 当 統 括 主 査    遠藤 亜美 |              |
| 真路 展彰                       |                                    | 子 ど も 家 庭 支 援 課 児 童 相 談 担 当 統 括 主 査    吉田 峻悟   |              |
| 阿部 泰子                       |                                    | 子 ど も 家 庭 支 援 課 児 童 相 談 担 当 主 事    秋山 花凜       |              |
| 對馬 秀樹                       |                                    | 保 育 サ ポ ー ト 課 保 育 セ ン タ ー 所 長    沢田 潤子         |              |
| 小林 恩                        |                                    | 障 害 福 祉 課 課 長    三富 応樹                         |              |
| 岩河 敏宏                       |                                    | 福祉部次長兼地域共生推進課長    渡部 剛                         |              |
| 柳葉 佳代子                      |                                    |                                                |              |
| 伊藤 誠子                       |                                    |                                                |              |
| 秋山 弥生                       |                                    |                                                |              |
| 貝塚 玄太                       |                                    |                                                |              |
| 亀卦川 幸子                      |                                    |                                                |              |
| 加島 真奈                       |                                    |                                                |              |
| 古一 菜摘                       |                                    |                                                |              |
| 日野 麻里乃                      |                                    |                                                |              |
| 丹野 良子                       |                                    |                                                |              |
| 岩上 敏江                       |                                    |                                                |              |
| 長谷川 和博                      |                                    |                                                |              |
| 櫻井 崇                        |                                    |                                                |              |
| 梅津 俊之                       |                                    |                                                |              |
| 平川 京子                       |                                    |                                                |              |
| 松戸 克彦                       |                                    |                                                |              |
| 欠 席 委 員                     |                                    |                                                |              |
| 横井 優香、隅田 浩文                 |                                    |                                                |              |
| 備 考                         | 会 長    平川委員                        |                                                |              |
|                             | 副会長    楠田委員                        |                                                |              |
| 考                           | 第 6 条第 4 項の規定による協力者    田中 之絵、金澤 勇一 |                                                |              |
|                             | 傍聴者    （ 8 名）                      |                                                |              |
| 会議録作成者氏名                    |                                    | 秋山 花凜                                          |              |

## 【議 事】

### 1. 各部会について（資料1）

#### （1）入園支援部会について 事務局（沢田センター長）説明

・令和7年度から開始した保育所での医療的ケア児保育について、これまで4月入所のみであったが、令和8年度より10月からの入所も可能とした。年度途中で体調が回復した児童も入所できるようになり、保護者の就労選択の幅が広がることを期待している。これに伴い、入園支援部会の開催を年1回から年2回に変更した。

#### （2）学校支援部会について 事務局（富澤課長補佐）説明

・来年度入学予定者の中に医療的ケアを要する児童が見込まれていないため、今年度は現時点で開催予定なし。今後の在籍状況等を踏まえ、開催については改めて検討する。

#### （3）質問、意見等

#### 加島委員

10月入園に係る部会の開催時期・実施状況はどうか。

#### 事務局（沢田センター長）

4月に開催を予定していたが、10月入所希望者がいなかったため中止となった。

### 2. メリー★ポピンズ和光ルームについて

#### （1）事務局（沢田センター長）説明

・令和8年4月より、メリー★ポピンズ和光ルームにて医療的ケア児の受入れを開始。今年度は1名を受入れ。専属看護師1名を配置。利用時間は、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時。

#### （2）質問・意見等

#### 加島委員

保育の具体的な様子（スライド等）の紹介はあるか。

#### 事務局（沢田センター長）

今回は実施していない。今後、保育所・保護者の承諾を得た上で報告できるよう調整する。

#### 加島委員

保育所の見学を希望している場合、どのタイミングで行えば良いか。また、窓口はどこか。

#### 事務局（沢田センター長）

保育施設の受入れ体制による。医療的ケア児コーディネーターとも情報共有しており、希望があれば市が一旦把握し、園と調整する。

#### 加島委員

窓口・情報提供の仕組みを整備し、必要な方に情報が届くようにしてほしい。10月入園についても

周知が不十分だったのではないかと。

#### 事務局（沢田センター長）

わかりやすい案内を心がけ、コーディネーターとも連携しながら情報提供を進めていく。

#### 平川会長

情報が必要な人に周知できるよう心掛けたい。

### 3. レスパイトケア事業について（資料2）

#### （1）在宅レスパイトケア、埼玉病院でのレスパイト入院について 日野委員説明

- ・在宅レスパイトケア補助事業について、令和8年9月1日から施行予定で準備中である。施行に先立ち、対象家庭・関係機関への制度説明を実施予定。医師の指示書に基づく通常の訪問看護を超えて実施した訪問看護費用の一部を市が補助する制度。補助額は、1時間あたり7,200円、年度上限18万円（約25時間相当）。例えば、訪問看護ステーションが1時間1万円の場合、市が7,200円を補助し、利用者負担は2,800円となる。申請は訪問看護ステーションを介して行う。
- ・埼玉病院へのレスパイト入院について、レスパイト専用病床の確保は困難だが、通常の入院手続きを通じたレスパイト受入れは可能。市として、家族が困った際にスムーズに埼玉病院につながる流れを整備したい。都立病院など他の医療機関でも、入院という形でのレスパイトを実施している。川崎市のみ、市独自財源で制度化しているが、費用負担が非常に大きく現実的ではない。
- ・今後の対応について、在宅レスパイト助成事業の体制整備・周知・運用を進める。埼玉病院のレスパイト入院について、相談から調整に至るまでの流れを整備する。

#### （2）小児慢性特定疾病医療費助成制度について 岩上委員説明

- ・申請のあった疾病が国の定める認定基準に該当するかを審査する制度。対象疾病は現在801疾病。助成対象は、対象疾病および付随する疾病に対する医療費のみ。子ども医療費・重度心身障害者医療費との相違点としては、入院食事療養費の一部も助成対象となる点である。利用には、指定小児慢性特定疾病医療機関（病院・薬局・訪問看護ステーション等）での受診が条件。詳細は朝霞保健所へ問合せてほしい。

#### （3）質問・意見等

##### 古一委員

現在、レスパイトが取りにくい状況。在宅レスパイトの選択肢が増えることはありがたい。和光市の在宅レスパイトの窓口を明確にしてほしい。

##### 日野委員

窓口は、子ども家庭支援課である。申請には訪問看護ステーションを介することが必須。詳細が決まり次第、わかりやすい手順書等を作成・周知する。

##### 古一委員

埼玉病院のレスパイト入院について、具体的な調整の流れを知りたい。

### 真路委員、上牧委員

退院カンファレンス等を通じて連絡をもらえれば対応可能。制度上は一度受診・医師判断を経てからの受入れとなる。かかりつけ医からの紹介状を取得した上で受診するのが良い。

### 日野委員

何もわからない場合は子ども家庭支援課に相談すれば流れを説明できる。

### 古一委員

川崎市のように独自財源を確保できないことが、現実的ではないとは具体的に何か。

### 上牧委員

川崎市方式は費用が高額になるため、現行の保険の範囲内での入院方式の方が広く利用できると考える。

### 加島委員

医療なのか、福祉なのか制度が多く混乱する。市の方でわかりやすく周知してほしい。

今回の和光市の在宅レスパイトについては、訪問看護事業所の金額によって自己負担額が変動するのか。

### 日野委員

そのとおり。

### 平川会長

医療や福祉の制度を活用する際、どのサービスを使うと良いかわかりやすく周知する必要があると感じている。その他、周知に関して要望があれば、担当課に連絡してほしい。

### 古一委員

宿泊型レスパイトの選択肢が埼玉病院のみに集中している。新規施設の開拓や既存施設の活用、医療的ケア児が大人になっても使える場の整備を求める。

### 平川会長、事務局（飯田課長）

障害福祉課とも連携しながら、児から者への移行も視野に入れ、市全体として何ができるか検討していく。

### 亀卦川委員

医療的ケア児が使えるレスパイト先は枠が少なく、早急な対応が必要。また、18歳以降の病院移行が非常に困難な現状を報告。「障害者」になった際の受け皿も考えてほしい。

### 平川会長

医療的ケア者への移行も含め、福祉部局とも連携しながら取り組んでいきたい。

#### 岩河委員

予算規模はどのくらいか。また、訪問看護ステーションの受入れは可能なのか。

#### 事務局（飯田課長）

令和8年度は9月施行のため補正予算対応。アンケートを実施した際、在宅レスパイト希望者は11名だったが、近隣市の利用実績を踏まえ、6名分で試算。訪問看護ステーションは既存の訪問に時間を付加する形での利用を想定している。市内の医療的ケア児が利用する訪問看護ステーションは4から5か所（板橋区・朝霞市・練馬区含む）で、制度開始にあたり丁寧に説明・協力依頼を行う予定。

#### 阿部委員

9月1日施行まで1か月余りしかない中で、事業者への事前連絡を早めに欲しかった。早急な周知を求める。

#### 事務局（飯田課長）

申し訳なかった。なるべく早急に周知する。

#### 伊藤委員

現状、障害福祉サービスと訪問看護の組み合わせで確保できる時間は長くて4時間くらいだと思う。在宅レスパイトはより長時間を想定していると思うが、自己負担の上限設定はあるか。

#### 事務局（飯田課長）

年間上限は18万円（約25時間相当）。近隣市では長時間利用のみを補助する自治体もあるが、保護者からは「4から6時間単位ではなく、1から2時間、現状のサービスに付加する程度で使いたい」という声があったことを踏まえ、本市では1時間単位から利用できる制度設計とした。18万円を超えた部分については、1時間7,200円の自己負担に加え、超過分は全額自己負担となる。ただし、近隣市の実績では18万円を年間で使い切る方はあまりおらず、上限いっぱい使われないケースが多い。今年度は国・県の補助金を活用した初年度として現行設計でスタートし、利用状況や他サービスとの組み合わせの可能性も含めて、自治体の実情に合わせた見直しを検討していく。

#### 岩河委員

1時間7,200円の補助上限より、総額18万円を上限として設定し、それを超えた分を自己負担とする制度設計の方が合理的ではないか。

#### 事務局（飯田課長）、平川会長

貴重な意見として受け止める。持続可能な制度として運営するため、一定の自己負担を設けた設計でスタートする。利用状況を見ながら改善を検討していく。

#### 古一委員

制度が複雑でわかりにくい。医療的ケア児コーディネーターをもっと活用し、横のつながりを強化してほしい。通っている児童発達支援センターやまぼうしに医療的ケア児コーディネーターがいるが、横のつながりがなく、情報提供が難しいと言っていた。身近な場所で気軽に相談できる仕組みを求める。

#### 貝塚委員

法人内でも情報共有・親の交流機会の創出に取り組んでいる。和光市等との連携を強化していきたい。

#### 平川会長

児童発達支援センターやまぼうしと和光市は、定期的に協議を継続しているため、密な情報交換を行ってほしい。情報提供の仕組みをブラッシュアップし、改めて案内する。

#### 4. 避難行動要支援者の個別計画書について（資料3）

##### （1）事務局（渡部福祉部次長兼地域共生推進課長）説明

・避難行動要支援者名簿とは、災害発生時に自力避難が困難な高齢者・障害者等の情報をあらかじめ登録した名簿である。従来は本人の同意を得た場合のみ平常時に名簿情報を提供していたが、対象者約3,000名に対し登録者は約800名（約27%）にとどまっていた。令和8年3月議会で条例を可決し、令和8年4月1日から施行。本人が拒否しない限り、平常時でも同意なしに避難支援等関係者（警察・消防・民生委員・自治会等）へ名簿情報を提供できるようになった。

・今後の予定としては、令和9年1月に対象者約3,000名に通知を発送し、趣旨説明・意向確認を実施。説明会等を開催し、対象者・関係者への周知を図る。令和9年4月以降に避難支援等関係者への名簿情報の提供を開始。医療的ケア児のいる家庭も対象に含まれる。

##### （2）質問・意見等

特になし

#### 5. その他

##### （1）岩上委員

・朝霞保健所長期療養児教室の案内。支援者の参加希望者は朝霞保健所まで連絡をいただきたい。

##### （2）加島委員

・保育園受入れの拡大やレスパイト予算が下りたことについて、関係者全員へ感謝したい。協議会が3年目を迎え、確実に前進してきたと感じる一方、今日の議論でも出たように、まだ進んでほしい部分も多く残っている。今期の任期はあと約1年。年に3回しかない協議会の場合は、市に意見を伝えられるすごく貴重な場であり、気持ちを込めて臨む。自分たち以外にも、まだ声を上げられずにいる当事者家族が多くいる。そうした方々のためにも、引き続き当事者意識を持って参加していきたい。

##### （3）平川会長

・心のこもった発言に感謝。進まない部分への不甲斐なさもあるが、できる限り精いっぱい進めて

いきたい。

(4) 事務局

- ・次回協議会は、令和9年2月5日（金）を予定。
- ・令和8年8月8日（金）、サンアゼリアにてこどもの権利に関する基調講演・特別講演を開催予定。  
チラシのQRコードから申し込み可。

以上